

消費者安全調査委員会の取組

(生命身体事故等の原因調査・再発防止のための提言)

現状把握 ・課題設定	インプット (資源)	アクティビティ (活動)	アウトプット (活動目標・実績)	アウトカム (成果目標・実績)	インパクト (国民・社会への影響)
○2012年10月発足(現在、9年目(5期目)) ・過去17件の報告書、評価書を公表 ○井上消費者担当大臣から、消費者安全調査委員会の機能強化について検討依頼 ○「消費者安全調査委員会の発信力の強化に向けた考え方」決定 ・これに基づき調査の充実等に取り組んでいる。	○予算(消費者安全調査委員会に関する経費+消費者事故調査等に必要経費) ・令和3年度 約89百万円 ・令和2年度 約90百万円 ・令和元年度 約94百万円 ○定員(実員) ・23名 うち、 常勤17名(任期付き10名) 非常勤6名	①生命身体事故等について事故等原因調査等を行う ②報告書の作成・公表。 調査結果をもとに関係行政機関の長へ意見具申 ③関係行政機関の取組状況を確認 加え、類似事故の発生状況も確認(いわゆる「フォローアップ」)	①事故等原因調査等の着手件数 ②報告書公表・意見件数 ③フォローアップ回数	【短期】 ○意見に対する取組が関係行政機関でなされる ○消費者の認知度向上により、事故に対する意識が高まる 【中期・長期】 ○事故の発生件数が減少	○生命身体事故等の再発・拡大を防止し、消費者の安全を確保